

とやま

県広報とやま

2002

4月号

各世帯配布版 No.393

富山県

特集 平成14年度県予算「元気なとやま創造予算」

クローズアップ うるおいある景観づくりを進めています



中華料理店で働きながら自分なりの練習方法でマラソンに挑戦する間野敏男さん(中央) 職場の皆さんの応援が何よりも元気を与えてくれる。

音楽や美術など特色ある保育のための指導員や乳幼児保育ヘルパーの配置2,675万円

少人数学習支援など基礎学力の向上やIT教育の推進などに取り組むため、小中学校、高校へ非常勤講師を配置3億8,910万円

郷土作家作品展展示室や子ども向けコーナーの設置など近代美術館の改修整備 ...1億1,060万円

国指定重要文化財の福野高校蔵浄閣の保存修理工事7,630万円

このほか、「3歳児親子ふれあい村」や「社会に学ぶ14歳の挑戦」の実施、私学の振興などに取り組みます。



生活立県

地域社会のなかで県民一人ひとりが安全で安心して快適な生活をおくる社会を実現します。

主な事業

安全で快適な暮らしの実現をめざします

介護給付費の負負担金67億5,300万円 (介護給付に必要な費用の12.5%を県が負担)

老人福祉施設や障害者施設の整備への助成27億9,362万円

危機管理対策

・BSE(牛海綿状脳症)対策費4,217万円

・生産から消費に至る総合的な食品安全対策の推進体制の整備100万円

大規模な事件・事故や災害時の警察活動の拠点となる警察装備センターの建設 ...2億6,073万円

流域下水道の整備57億9,715万円

このほか、痴呆性高齢者対策の充実、防災対策、河川の改修、砂防改良、地すべり対策などに取り組みます。



人材立県

創造性豊かでたくましい行動力をもった人材を育てるとともに、人材が交流し、定着する富山県の形成を図ります。

主な事業

日本の元気は富山から

県民が自主的に取り組む元気活動への助成、とやまスマイル展の開催など「元気に富山」の推進1億円

青年自らの企画・運営イベント「青年の挑戦“V-DASHフェスタ2002”(仮称)の開催への支援750万円

高齢者等を対象としたいきいき文化財博士養成事業の実施270万円

民間事業所での推進役の設置、配偶者暴力対策など男女共同参画の推進2,570万円

地域課題に取り組む先駆的なNPO活動への助成120万円

中学・高校の部活動にスポーツ指導者を派遣するスポーツエキスパート派遣事業の拡充3,869万円 (520人 710人に拡大)

このほか、ボランティア活動拠点施設の整備や総合型地域スポーツクラブの育成、医療体制の整備などに取り組みます。



すこやかな子どもの育成に努めます

完全学校週5日制への対応

・放課後児童クラブへの支援の充実8,179万円 (小規模クラブ(5~9人)も助成対象に)

・子どもたちの体験活動や奉仕活動を支援するこども元気活動支援センターの設置 ...3,235万円

・児童・生徒の土日、祝日の文化施設等の観覧料等の無料化(9ページで詳しく紹介しています)

第3子以降の保育料軽減制度の拡充 ...1億7,359万円 ([0~3歳] [0~4歳]に拡大)

特別保育に対する助成の拡充7億8,168万円 (延長保育85 98カ所、乳児保育67 85カ所、子育て支援センター17 21カ所に拡大)

元気な県づくりを積極的に進めます

—平成14年度県予算

「元気なとやま創造予算」—

一般会計当初予算は5,795億円で、前年度より175億円(2.9%)の減

本県の財政は、景気の悪化により税収が大きく減少するなど、依然として厳しい状況にあります。このような中でも、平成13年度からスタートした県民新世紀計画を着実に進め、県民の皆さんの夢、希望、期待にこたえることが大切です。

平成14年度予算は、厳しい中にあっても将来の発展をめざし、県民の皆さんが元気に頑張ることのできる県づくりを積極的に進める内容になっています。

その概要を人材、生活、環境、産業、国際の五つの立県構想に沿って紹介します。

元気な県づくり施策の積極的な推進

ボランティア活動の支援など元気なとやま推進施策
保育所や児童館の整備など元気な子ども施策
生きがい対策や介護基盤の充実など元気な高齢者施策
総合型地域スポーツクラブの育成など健康・スポーツの振興
成長産業の支援、中心市街地の活性化など活力ある産業施策

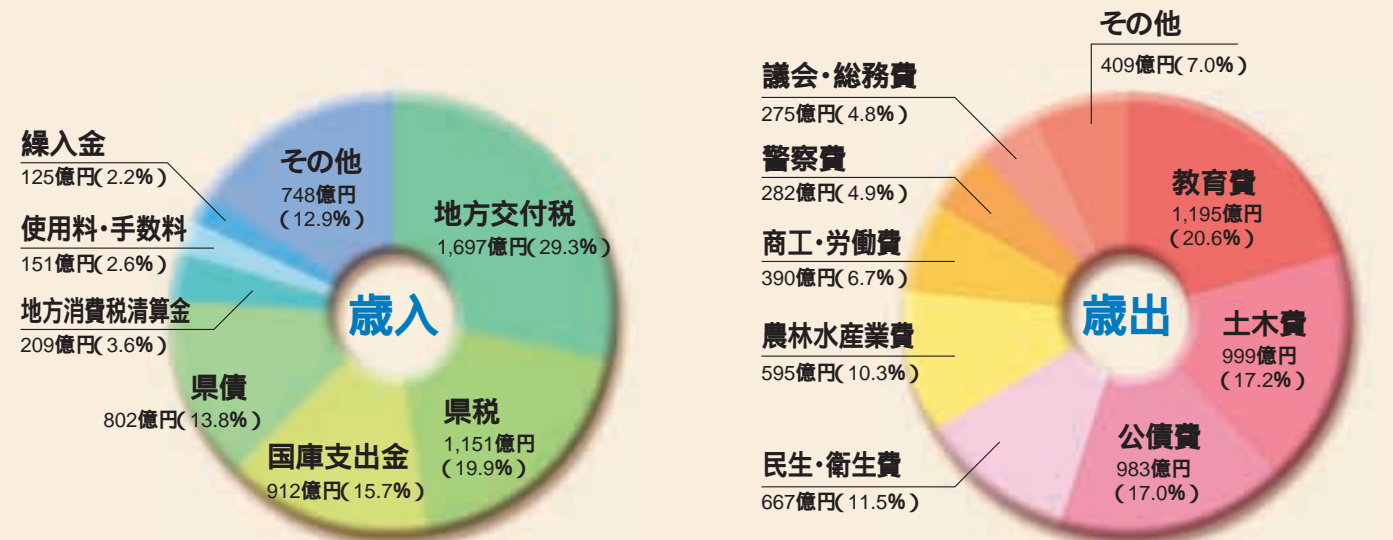
発展の基盤づくりの計画的な推進

「日本海学」の推進など環日本海交流の中央拠点づくり
北陸新幹線や高速道路、富山空港など交通体系の整備
下水道などの社会資本の充実
ケーブルテレビなど情報通信基盤の整備

緊急課題への迅速・適切な対応

中小企業金融対策や緊急雇用創出特別基金の活用など景気・雇用対策
組織機構の見直しや定員管理・給与の適正化など行政改革
県債の新規発行の抑制や事業の重点的・効率的な実施など財政健全化策
テロ対策、BSE(牛海綿状脳症)対策など危機管理対策

平成十四年度の重点施策



予算の特徴

歳入予算のポイント

税収が大きく減少する中で、県債の新規発行を抑制し、発行する場合は財源措置のある有利な県債を活用

地方交付税 前年度より9億円の減 (構成比29.3%)

県税 景気の悪化により、法人関係税や地方消費税などが大幅に減少し、前年度より164億円の減(マイナス12.5%)

県債 臨時財政対策債などの発行が増加したこと(同13.8%)から、前年度より132億円の増ただし、建設事業等に充てる通常の県債は464億円で、前年度より98億円の減

臨時財政対策債...地方交付税の不足を補うため、これに替えて発行できるとされている特例地方債

歳出予算のポイント

歳出総額の抑制を図りながら、事業の重点化、効率化

土木費・農林水産業費 公共事業費の減などにより、前年度より94億円の減 (構成比27.5%)

公債費 一定期間を経過した県債の借換が大幅に増(同17.0%)えたが、借換を除くと前年度と同額程度

民生・衛生費 高齢者福祉や少子化対策の充実などにより、構成比で前年度と同率を確保

商工・労働費 景気・雇用対策の充実などにより、構成比で前年度より0.1ポイントの増

中高年齢者の技術と経験を国際協力に活用する
シニアボランティア派遣事業の実施 ...2,170万円
中国との経済交流エキス泊「NEAR2002・中国」の
開催(10月予定)2,150万円
国連機関のNOWPAP本部事務局の活動支援 ...5,537万円
日本海学の推進4,609万円
(シンクタンク機能をもつ日本海学の推進機構の
設立準備、シンポジウム
の開催など)

このほか、友好提携先
との人材・経済交流や
環日本海諸国との環境
協力などに組み込ま
れます。



新時代の行政運営

県民が主役の県づくりを進めるとともに、新たな時
代にふさわしい行政システムの確立をめざします。

主な事業

住民と地方が主役の県づくり

新しい情報公開制度が4月からスタートします。
県職員が県内各地に出向き、県民と直接対話するコ
ミュニティ・ミーティング(仮称)を開催します。
市町村合併によるまちづくりなどについて話し合う
法定合併協議会への支援制度を創設するなど、引き
続き市町村の取り組みを支援します。
総事業件数の約18%に相当する419件の見直しを
行い、約14億6,000万円の経費を節減します。
効率的で質の高い行政サービスを提供するため、政
策評価制度を本格実施します。

県債の新規発行の抑制や財源措置のある有利な県債
の活用、事業の重点的・効率的な実施など財政の健
全化を推進します。
これにより、通常の県債
の残高は平成13年度
に比べ減少します。

行財政改革について
は、新聞朝刊各紙に掲
載する「県からのお知
らせ」で詳しく紹介し
ます。



問合せは、県庁財政課まで ☎076(444)3105
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1105/14tosho-index.htm>

高度熟練技能者「とやまの名匠」の認定事業の
実施1,800万円

このほか、白ねぎ産地の体質強化や富山米・とやま牛の
消費拡大、公共施設の木造化などに取り組みます。

景気回復と雇用の安定に向けて

- 企業立地助成制度の拡充
- 工場等の新增設に伴い10人以上新規雇用した企業を
対象とした雇用創出企業立地助成制度の創設
(新規雇用1人につき50万円助成)
- 情報通信関連企業を対象とした通信回線使用料
助成制度の創設(融資限度額2,000万円×3年)
- 設備投資助成金の特認限度額の引上げ
(3億円 5億円に拡大)
- 経営安定資金融資制度の拡充
- 金融機関と連携して取り組む経営改善策を支援
する融資制度の創設
(融資限度額5,000万円、貸付利率1.5%)
- 連鎖倒産防止枠の拡充(融資限度額3,000万円
5,000万円に拡大、貸付利率1.75% 1.5%に引下げ)
- 小口事業資金の拡充
(融資限度額1,000万円 1,250万円に拡大)
- 緊急雇用創出特別基金を活用した教育、福祉、
環境などの分野での雇用の創出 ...18億4,688万円
- 離転職者等を対象とした民間教育訓練施設へ
の委託訓練の拡充7,600万円
(230人 460人
に拡大)

このほか、中心市街地
の活性化や配置業業の
振興、勤労者福祉対策
などに取り組みます。



国際立県

環日本海交流の中央拠点として、世界に開かれ貢献
する富山県をめざします。

主な事業

環日本海の中央拠点づくり

- 日中国交正常化30周年を記念した日中自治体
友好交流会議の開催(9月予定)1,413万円
- 留学生のための日本語教育機関の開学準備 ...5,123万円

環境と調和した美しい県土づくり

- 景観に関する条例の制定など、うるおいある
景観づくりの推進1,819万円
- 有峰の自然の保全・活用を図る有峰森林
文化村構想の推進(8月開村予定)3,500万円
- 木の実拾いから育成、植樹までを県民運動として
展開するみんなで木を植える運動事業の実施 ...1,200万円
- 雪を活かした技術開発やイベントなどに助成
する元気な雪国づくり事業の実施1,300万円

このほか、散居村等の田園空間整備事業や
地下水保全対
策、深層水の
大規模取水技
術開発などに
取り組みます。



産業立県

知恵と技術を活かし、挑戦する人が育ち、活躍する活
力ある産業社会を築きます。

主な事業

発信します、とやまの産業・観光

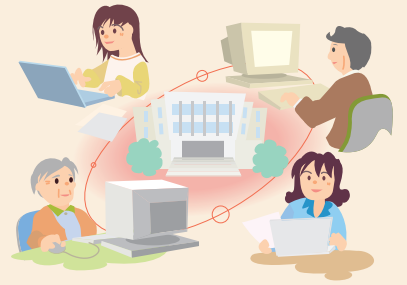
- ソフト系IT産業の集積に向けたアクション
プログラムの作成300万円
- バイオ分野の商品化・事業化に向けた調査研究
への助成2,200万円
- 深層水の水産・非水産分野での利用研究の実施
.....9,526万円
- 集落営農組織や個別農家の法人化の促進 ...2,884万円
- 水産物荷さばき施設の整備への助成 ...4億2,608万円
- 第10回地域伝統芸能全国フェスティバル富山
等の開催(11月予定)5,404万円
- 首都圏での県産品や観光等の総合情報発信基地
「いきいき富山館」(仮称)の設置・運営
...4,658万円



時間と距離を超えて、進む交通・情報網

- 北陸新幹線建設費の県負担金37億17万円
- 地方バス・市町村運行バスの路線
運行維持等への助成5億5,880万円
- 中長期的展望に立った公共交通
のあり方の検討100万円
- 富山空港の機能拡充整備6億4,500万円
- ケーブルテレビの放送区域拡張
整備への助成7,659万円
- 電子申請受付システムの構築など
電腦県庁の推進2億9,571万円

このほか、高速道
路の整備促進、鉄
道軌道設備の近代
化、伏木富山港の
整備などに組み
込まれます。



環境立県

豊かな環境の保全と創造に取り組み、水と緑のうる
おいある環境と調和した美しい県土をつくります。

主な事業

循環型社会の構築をめざして

- とやま廃棄物プランの策定151万円
- リサイクルに取り組む事業所やリサイクル
製品の認定制度の創設185万円
- 温室効果ガス排出削減計画の策定に向けた
基礎調査の実施1,000万円
- 2002年の国連「国際山岳年」記念事業の実施
.....9,009万円
(らいちょうシンポジウム、全国山岳トイレシンポジウムの開催など)
- 富山湾の水質保全対策の推進936万円

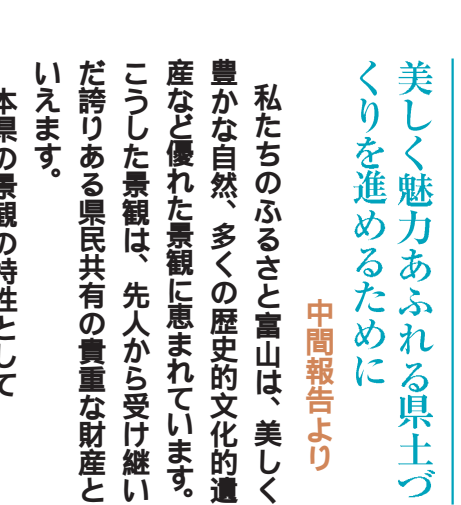
このほか、富岩運河等のダイオキシン類対策や
山岳地での環
境に配慮した
トイレの整備
などに組み
込まれます。



うるおいある景観づくりを進めています

～お聴かせください、あなたのご意見を～

県では今、本県の美しい自然景観や歴史的町並みなどを守り育て、さらに魅力ある景観を創造していくため、景観施策のよりどころとなるべき条例の制定に向けて取り組んでいます。このたび、本県の景観施策のあり方について検討してきた「富山県の景観を考える懇談会」から中間報告が示されました。県では、景観づくりについて皆さんと一緒に考え、うるおいある景観づくりを進めていきたいと考えています。ぜひ皆さんのご意見をお寄せください。



美しく魅力あふれる県土づくりを進めるために

中間報告より

私たちのふるさと富山は、美しく豊かな自然、多くの歴史的文化的遺産など優れた景観に恵まれています。こうした景観は、先人から受け継いだ誇りある県民共有の貴重な財産といえます。

本県の景観の特性として
 ・立山連峰や富山湾などダイナミックな自然景観
 ・散居村やチューリップ畑など広がりある田園景観
 ・瑞龍寺や合掌づくり集落など多くの歴史的・文化的景観
 ・富山駅北地区や御旅屋西通りなど変貌する都市景観
 があります。

この多様で個性豊かな景観を保全・継承し、さらに魅力ある景観を創っていくことは、美しく快適でいのちの輝く県土づくりや魅力と活力にあふれる地域づくりを進めることにつながります。

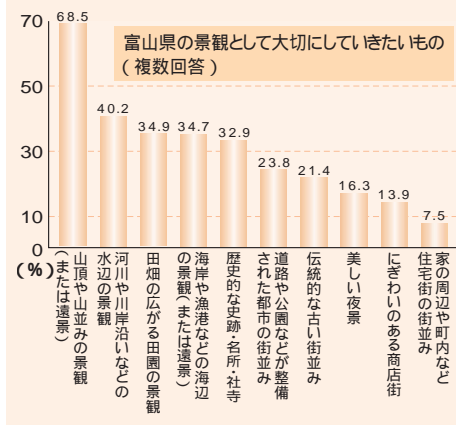
また、素晴らしい景観に身近に触れること、自主的に景観づくりに努めることは私たちの心を豊かなものに、郷土への誇りと愛着をはぐくむこととなります。



「私たちの故郷・富山が美しくあってほしい」。そんな皆さんの願いを込めた幅広いご意見、ご提言をお聴きしながら、富山らしい景観条例の制定をはじめ、よりよい景観づくりを進めていきたいと考えています。みんなで力を合わせて、うるおいある景観づくりに取り組んでいきましょう。

県民アンケート調査から

県では、昨年六月に「景観に関する県民アンケート調査」を実施。その中で、富山の景観として大切にしていきたいものを聞いたところ、「山頂や山並みの景観」、「水辺の景観」、「海辺の景観」などダイナミックな自然景観の保全に高い関心を示しています。



基本的な目標

かけがえのない恵み豊かな自然を守り、美しい風景づくりを進める
 地域の誇れる歴史や文化を生かした個性豊かな景観を育てる
 水と緑で彩られ、いのちが輝く魅力と活力にあふれる景観を創造する

景観施策の基本的な方向

<p>富山らしい景観を守り育て、創るための総合的な方針を策定する</p> <p>県土の景観づくりを総合的・計画的に推進するための基本方針を策定</p>	<p>水と緑で彩られた景観を創造する</p> <p>水辺の景観づくりを推進 公共施設や事業所等の緑化の推進</p>
<p>景観上重要な地域での景観づくりを進める仕組みをつくる</p> <p>県を代表する景観を有する地域を重点地域に指定し、基本計画を策定して積極的に景観づくりを推進</p>	<p>地域で親しまれている景観を大切にしてい</p> <p>ふるさとを象徴する樹林、建造物、名勝地などの保存 優れた景観を眺望できる地点の指定</p>
<p>景観に大きな影響を及ぼさないよう、建築物等の景観誘導策を進める</p> <p>建築や開発行為等の際に景観上配慮すべき基準を策定 建築や開発行為等の事前届出制度の創設、基準による県の指導・助言の実施</p>	<p>県民、事業者や市町村の取組みを積極的に支援する</p> <p>地域住民の取組みへの支援 住民や事業者の景観づくり協定の促進 市町村の景観づくり施策への支援</p>
<p>公共事業において景観に積極的に配慮する仕組みを定める</p> <p>公共事業の景観づくり指針を策定</p>	<p>県民への普及啓発活動等を幅広く進める</p> <p>情報提供、普及啓発等による美しさを学び、実践する場づくり 景観に関する専門家の助言、優良事例等の顕彰</p>

あなたのご意見をお寄せください

応募方法 / 「景観施策の基本的な方向」など本県の景観づくりへのご意見と、次の必要事項を書面(書式は自由)に記入し、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法でご応募ください。

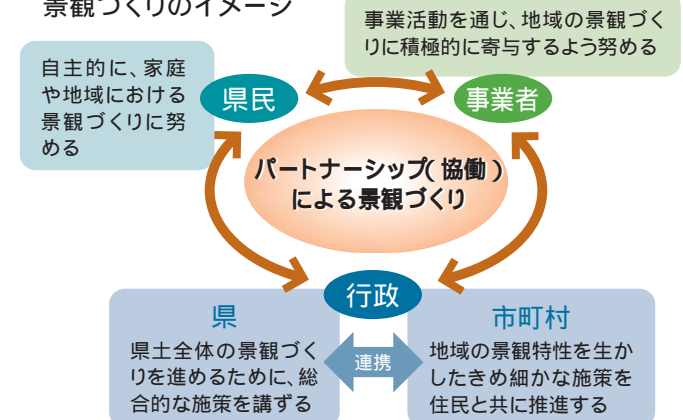
必要事項 / 必ず書いてほしいもの...住所、氏名、職業
 できれば書いてほしいもの...性別、年齢、電話番号、メールアドレス

締切 / 4月19日(金)必着 中間報告全文については、県庁都市計画課で配付するほか、県のホームページでもご覧いただけます。

問合せ・応募先 / 〒930-8501(住所記載不要) 県庁都市計画課景観形成施策担当
 ☎ 076(444)9661 FAX 076(444)4421
 e-mail: toshikeikaku@pref.toyama.jp
 http://www.pref.toyama.jp/sections/1506/keikan.htm



景観づくりのイメージ



懇談会が示す基本的な方向
 このたびの中間報告では、本県の基本的な目標と景観施策の基本的な方向が示されました(六ページ)。

県では、その中間報告などを踏まえ、景観に関する条例の制定に向けて取り組んでいるところですが、景観づくりには、何よりも県民一人ひとりの意識が大切です。

仲間たちの応援を受け 河川敷から国際レースへ



昨年12月の福岡国際マラソンでは、自己最高の2時間11分52秒を記録。これが自信になったという。



中華料理店で働きながら
マラソンに挑戦し続ける市民ランナー
まの としお
間野 敏男さん
1972年生まれ 魚津市在住

今年2月の東京国際マラソンで、世界のトップランナーたちと肩を並べて力走し、日本人選手の中ではトップの5位入賞となった間野敏男さん(29歳)。駅伝ランナーとして実業団に所属していたが、1995年の初マラソンでその魅力に目覚め、実業団を退社してマラソンランナーに転身。以来、中華料理店で働きながら、独力で練習を続けてきた。力をつけてきた市民ランナーに大きな注目と期待が集まっている。

河川敷がホームグラウンド

昼下がりの片貝川の河川敷を、長身のランナーが走っている。長い脚が地面を小気味よく蹴る。「毎日二十〜三十キロ、大会が近づけば四十キロは走ってます」

ここが間野さんのグラウンドだ。新潟県で生まれた間野さんは、中学・高校時代に中距離ランナーとして活躍し、富山県の実業団に入社した。駅伝のランナーとして練習を重ねていたが、思うように記録が伸びなかったという。「やらなければいけないという気持ちと体がかみ合わず、ケガも多かったですね」

自信を失いかけた時、練習の環境で出場し、二位に入賞した市民マラソンが間野さんを大きく変え

た。好成績への喜びもあったが、何よりも走り終えた後の充実感が間野さんの情熱に火をつけた。「どうしてもマラソンをやりたい」

働きながらマラソンに挑戦

マラソンに専念することを決意した間野さんは、駅伝が中心の実業団を退社した。しかし、実績のないランナーを受け入れてくれるところはなく、中華料理店に就職し、一人で練習する道を選んだ。「飲食店なら、昼間に練習の時間があると思っただけです。毎日午後二時から河川敷で走り込んで大会をめざしました」

しかし、結果は思うようにならなかった。途中棄権も何度あった。そんな中、休みをとると福岡や東京に出かけていく。不審行動が、社長の知るところとなってしまった。次のレースを最後にします」という間野さんに、社長の答えは「後悔しないようにやってみろ」。そう言って二カ月間の休暇をくれた。焦りから開放され、練習に打ち込んで挑んだ平成十年の防府読売マラソンで、初めて二時間二十分を切って新人賞を獲得した。

走っているのは一人じゃない

間野さんは、練習方法も自分で考える。これまで出場した大会は十四回。二月の東京国際マラソンでは日本人トップでゴールした。「自分が大会に出るときは、他の従業員が自分の分をカバーしてくれるんです。職場の仲間たちや家族の理解と協力があつたから、ここまでできました」

レースの苦しさの中で、仲間の顔が浮かび、頑張ることができたと間野さんは言う。

実力をつけ、世界も見えてきた間野さん。「三十キロまでなら誰でも走れる。マラソンはそこからが勝負」という。間野さんのマラソン人生もこれから。攻めのレースで頑張りたいという間野さんは、みんなの気持ちと一緒に今日も走り続けている。



マラソンランナーであることを知るお客さんも増え、「がんばって」と声をかけられることも多くなった。「とても励みになります」と間野さん。

皆さんに郷土の良さを再発見・再確認してもらおうという趣旨から、今回からシリーズで、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国に紹介された富山の話をお伝えします。今回は平成14年1月～2月に紹介された約80件(広報課調べ)の話題の中から、いくつかを紹介します。(ここで紹介しきれなかったものは、県のホームページでご覧になれます。)

深まる飛越交流

富山と岐阜の県境、飛越地域の交流が、行政・民間レベルで急速に広がっていることが伝えられ、「日本の心のふるさと」を合言葉に地域活性化をめざす取り組みが紹介された。

◎ 日本経済新聞 1月13日

スペシャルウォーターは海洋深層水

プロ野球の巨人・清原和博選手が、ケガをしない強じんな体をつくるため、アルカリ性が強い「富山湾海洋深層水」を愛飲していることが紹介された。「冷たい日本海産が一番いい」と専属トレーナーの談。

◎ スポーツニッポン、スポーツ報知、中日スポーツ 2月4日

◎ 週刊ポスト 2月22日号

厳寒の海の王者 寒ブリの醍醐味

氷見で水揚げされる寒ブリは、鮮度や味の点で極上と評価されていると紹介され、ブリ大根などのおなじみのものからフレンチ、中華など、さまざまな料理でブリの醍醐味に迫った。

◎ Hemingway 2月7日号

阿藤快さん、宇奈月を訪れる

全国に自慢できるふるさとをめざし、地域活性化に取り組む各地の事業が紹介された。タレントの阿藤快さんが宇奈月町を訪れ、お年寄りのために開かれている映画上映会の模様などをレポート。

◎ 日本テレビ『日本縦断ふるさと自慢』 1月26日

赤かぶ検事が氷見を舞台に活躍!

赤かぶ検事(橋爪功さん)が事件の真相に挑むおなじみのシリーズ。今回は氷見を舞台にストーリーが展開し、氷見漁港でのブリの朝競り、朝日山公園などが登場した。

◎ テレビ朝日『土曜ワイド劇場「和久峻三ミステリー赤かぶ検事(13)氷見～高山ブリ街道連続殺人事件!」』 2月23日

じっくり取り組む、14歳の挑戦

中学生の職場体験は、全国的に1日だけというところが多いなか、すべての中学2年生が、5日間というまとまった期間で実施している富山県の「社会に学ぶ14歳の挑戦」の取り組みが紹介された。

◎ 朝日新聞 1月14日

真っ白なナマコがお目見え

全身真っ白な珍しいナマコが魚津沖で捕獲されたことが紹介された。白いナマコは全国的にも発見例が少なく、富山湾では初めてのとのこと。

◎ 読売新聞 2月6日

環境と食料を守る定置網漁法

昨年11月に氷見市で開催された「定置網新世紀フォーラム」の様子が放送され、水産資源の持続的活用が可能な定置網漁法の優れた点などが紹介された。

◎ NHK教育『金曜フォーラム』 1月25日

『散居村 1haのユートピア』

民間放送教育協会が年1回行っている企画コンテストの最優秀作品(北日本放送制作)。テレビ朝日をはじめ全国の地方民放局で放送され、田んぼで遊ぶ子どもたちの生き生きとした表情など、散居の暮らしが紹介された。

◎ テレビ朝日 2月11日(ほか全国の地方民放局で放送)

今後の予定

文化放送とKNBラジオの共同企画で、富山の魅力を再発見する番組が放送されます。富山の自然、食べ物、観光地が紹介される予定です。

4月29日(月・祝)/午前10:00～10:55

情報をお寄せください

富山県が全国で紹介された情報などをお持ちでしたら、ぜひ次のところまでご連絡ください。

〒930-8501(住所記載不要)

富山県庁広報課「全国で紹介された富山県」係

☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478

e-mail koho2@pref.toyama.jp

ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

県では、全国で紹介された話題を3か月分ごとにまとめた『とやま NEWS CLIPS 全国で紹介された富山県』を発行しています。県庁や市町村役場の窓口、県内の図書館などでご覧になれます。



県の施設がますます利用しやすく！

4月から完全学校週5日制が始まることなどから、子どもたちをはじめ、多くの県民の皆さんに県の施設を幅広く利用していただくため、4月1日から観覧料や利用日、利用方法などを変更します。

子どもたちの土日、祝日の観覧料が無料に！

小学生、中学生、高校生が土・日曜日、祝日に、次の施設を利用する場合、観覧料・入館料等が無料になります。

対象施設

近代美術館、水墨美術館、立山博物館、立山カルデラ砂防博物館、中央植物園、県民会館分館（内山邸・金岡邸）、とやま健康パーク生命科学館

近代美術館、水墨美術館、立山博物館、立山カルデラ砂防博物館については、常設展だけでなく、県主催の企画展も無料になります。なお、同施設を学校の遠足や児童クラブの活動などの教育活動に利用する場合は、平日でも引率者を含め、県主催の企画展も無料になります。



県立図書館と中央植物園を利用できる日が変わります

県立図書館 毎週日曜日を閉館します。
従来の日曜日の閉館は、第2・4日曜日のみでした。これに伴い、毎週月曜日が休館日になります。

中央植物園 祝日の翌日も開園します。
従来は、祝日の翌日は休園でした。開園日がこれまでより約10日間増えます。休園日はこれまで通り木曜日です。



家に居ながらスポーツ施設の予約ができます

県総合体育センター、県高岡総合プール、県西部体育センターの利用については、インターネットを通じて申し込みができるようになります。空き情報も確認できます。

申込先のアドレス(とやまスポーツ情報ネットワークのホームページ)
<http://www.sportsnet.pref.toyama.jp>



パスポートの受取りが便利に！

パスポートの受取りが**県旅券センター**(マリエとやま7階)か**高岡旅券センター**(御旅屋セリオ7階)かを選択できるようになります。

これまでは申請したところで受け取る必要がありましたが、これからは、例えば富山で申請し、受取りは高岡で、ということができます。

近代美術館

稗田一穂展
【4/13(土)～6/2(日)】
今日を代表する日本画家・稗田一穂の初期から現在に至るまでの代表作品を展示し、幻想的で詩情豊かな世界を紹介します。
一般900円/高・大650円/小・中450円
常設展示もご覧になれます。

9:30～17:00(入館は16:30まで)
ⓧ月曜・祝日の翌日(4/29～5/6は無休)
常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円

水墨美術館

生誕100年記念 小松均展
【4/5(金)～5/6(月・休)】
本県ともゆかりの深い日本画家・小松均の生誕100年を記念し、初期から晩年の代表作約50点を紹介します。(4/22に作品の一部を展示替えします。)
一般900円/高・大650円/小・中450円
常設展示もご覧になれます。

9:30～17:00(入室は16:30まで)
ⓧ月曜・祝日の翌日(4/29～5/6は無休)
常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円

中央植物園

夜桜観賞
【4/2(火)・3(水) 18:00～21:00】
ライトアップされた桜を観賞します。
夜桜特別料金 一般200円/高校生以下 無料

9:00～17:00(入園は16:30まで)
ⓧ木曜(5/2は開園)
入園料 一般600円 小・中300円

海王丸パーク

鯉のぼり掲揚式・花の迷路開園式
【4/16(火)】

ちびっこ天国 in 海王丸パーク
【4/27(土)～29(祝) 5/3(祝)～6(月・休)】
富山新港クルーズ(有料)などを行います。

海王丸総帆展帆
【4/28(日) 5/5(祝)】

入園自由 帆船海王丸乗船は9:30～17:00
ⓧ月曜・祝日の翌日(4/29～5/6は乗船可)
乗船料 一般400円 小・中200円

県民公園太閤山ランド

太閤山ランドみどりの散歩道
【4/29(祝) 13:00～16:00】
ナチュラリストの自然解説を聞きながら、新緑の散歩道を散策します。
参加費/大人200円、小学生以下100円
要申込 4/21まで

いきいき小杉太閤山フェスティバル
【5/3(祝)～5(祝) 10:00～17:00】

9:00～17:00(5/3～6は無休)
ⓧ火曜・祝日の翌日(4/29～5/6は無休)
入園無料(駐車料金は別途必要)

県民公園常願寺川公園

常願寺川公園 桜まつり
【4/6(土) 13:00～16:00】
【4/7(日) 10:00～16:00】
桜に囲まれた華やかな雰囲気の中で「キリンの目で花見」、「ミニSL試乗」、「馬と親しむ会」などを行います。

9:00～17:00
ⓧ火曜・祝日の翌日(5/6は開園)
入園無料

こどもみらい館

パソコンでカレンダー
【～4/21(日)】
パソコンで自由に絵や模様を描いて、オリジナルカレンダーを作ります。
参加費100円

アートショップ
【4/13(土)～4/21(日)】
「くるみ怪獣」や「くねくねミラーボックス」などを作ります。
材料代100～300円

9:30～17:00(ⓧ火曜・第4水曜、祝日の翌日(5/6は開館) 入館無料)

ウッドリウム富山

趣味の木工教室
【4/21(日) 9:00～12:00】
糸のこを使用して、五月人形を製作します。
材料代1,200円
要申込 4/14まで 定員20名(先着順)

9:00～16:30
ⓧ火曜・祝日の翌日
一般220円 小・中110円(工作室を利用する場合)

一上青少年の家

「春の楽しさ発見！」
【5/11(土)～12(日)】1泊2日
ナチュラリストの案内でタケノコ狩りなどを楽しみながら春の味覚を味わいます。
参加費/500円
対象/小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴)
要申込 4/17～24 定員/80名(先着順)

8:30～17:15(ⓧ月曜・祝日の翌日、5/5、7日帰り利用料/90円)
宿泊料/小・中340円、25歳以下670円、26歳以上1,020円

黒部青少年の家

新緑の南保富士登山ハイク
【5/19(日) 8:00～16:00】
新緑にふれあいながら里山登山を行います。
対象/小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
参加費/500円
要申込 4/23～5/11まで 定員/30名(先着順)

8:30～17:15
ⓧ月曜・祝日の翌日、5/1、2、7日帰り利用料/90円
宿泊料/小・中340円 25歳以下670円 26歳以上1,020円

砺波青少年の家

里山に親しむ「はる」のつどい
【4/27(土)～28(日)】1泊2日
自然を利用したゲームや山菜採取などをして、里山の自然に親しみます。
参加費/1,000円
対象/小・中学生とその家族
要申込 4/12まで 定員/50名(抽選)

8:30～17:15
ⓧ月曜・祝日の翌日、5/5、7日帰り利用料/90円
宿泊料/小・中340円、25歳以下670円、26歳以上1,020円

呉羽少年自然の家

呉羽の春の集い
「タケノコを探そう!掘ろう!味わおう!」
【4/20(土)～21(日)】1泊2日
タケノコ、ヨモギやワラビなど、採取した春の豊かな食材を調理して食べます。また、参加者全員でゲームなどをして楽しみます。
対象/小・中学生とその家族、一般
参加費/一般3,000円、小・中2,500円、幼児2,400円
要申込 4/14まで 定員/100名(先着順)

9:00～17:00(ⓧ月曜・祝日の翌日、5/3～7日帰り利用料/90円)
宿泊料/小・中340円、25歳以下670円、26歳以上1,020円

各施設では、車いす用トイレや出入口段差解消のためのスロープを設置しています。

近代美術館、水墨美術館、中央植物園は4月から土日・祝日の小・中学生、高校生の観覧料、入園料が無料になります。



とやま 音のある 風景

Vol.42
夜高祭
福野町

赤い光が闇に燃え、 町に熱気がみなぎる

春宵の町を縫って、夜空を真っ赤に焦がしながら巨大な行燈あんどんが姿を見せる。「ヨイヤサ、ヨイヤサ」。笛や太鼓の軽快なリズムの中、若者たちの掛け声とともに通りを曳き回されていく。

毎年五月一日と二日、福野町は夜高祭で活気づく。慶安五(一六五二)年、伊勢神宮の御分霊を町の氏神様として迎え入れる時、俱利伽羅峠で日が暮れ、氏子たちが手に行燈を持って出迎えた。これが祭りの由来とされ、今年三百五十周年を迎える。

勇壮な武者絵や極彩色の模様飾られた七メートルの大作行燈は、見る者を圧倒し、祭りの気分は一気に高まる。圧巻は、二日の夜に行われる「ケンカ」と呼ばれる引き合い。その場に止まる行燈の横を他の町が通り抜けるとき、互いの行燈を破り合う。約二カ月かけて製作された行燈が時とともに姿を変えていく。行燈が揺れ、歓声がひとときわ大きくなる。引き合いが盛大なほど神様は喜ばれるという。夜は深まり、神様も人も心を高ぶらせる。町に熱気がみなぎり、陽春の喜びにあふれる。

県内五十箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。

◆ 編集部からのお知らせ ◆

日ごろから、県広報とやまをご愛読いただきありがとうございます。本誌は、平成14年度から年6回の隔月発行(偶数月)となり、そのすべてを新聞折込で各家庭までお届けする「各世帯配布」となります。

変更内容

各世帯配布版年3回 年6回
通常版(公共施設等を中心にして配布).....廃止

県では、皆さんに県政をより身近に感じてもらうため、効果的な県政情報の提供に積極的に取り組んでいるところです。今後とも、皆さんに親しまれる広報誌づくりに努めていきますので、引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。

なお、次の場所でも各世帯配布版を無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所/県庁、県刊行物センター(県民会館1階) 県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階) JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号、住所、氏名、電話番号、購読回数を明記し、郵送料として1回当たり120円分の切手を同封のうえお申し込みください。

あて先 〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課
「県広報とやま」定期購読係

とやまの情報お伝えします!

こんには富山県です
北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00 - 11:30

とやまDASH!
フォーカス・イン
富山テレビ
毎週日曜 9:00 - 9:30

富山が元氣。
見たモン勝ち2
チューリップテレビ
第4日曜 10:00 - 10:52

とやま音聞録
FMとやま
毎週月曜 - 木曜 11:30 - 11:40
毎週土曜 11:30 - 11:55

新聞広報「県からのお知らせ」
3月30日、4月13日・27日の
朝刊各紙に掲載予定
県のホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>
県広報とやまのホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/toyama/saishin.htm>

県政クイズ

平成14年度県予算のキャッチフレーズは、

「 なんとやま創造予算」
です。

を埋めてください。

答えは特集を読めばわかります

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年令と本誌の感想を記載。あて先/〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課「県広報とやま4月号」クイズ係 締切/4月22日(月)(消印有効)

正解者の中から20名の方に、「とやまの音風景」のCDをプレゼントします。

